

## 最終氷期以降の気候変動下における永久凍土深の変動

## The variation of the permafrost thickness under the climate change after the LGM

# 末吉 哲雄[1], 浜野 洋三[2]

# Tetsuo Sueyoshi[1], Yozo Hamano[2]

[1] 東大・理・地球惑星, [2] 東大・理・地球惑星物理

[1] EPS, Univ. of Tokyo, [2] Dept. Earth & Planetary Physics, Univ. of Tokyo

永久凍土は北半球高緯度陸面に広く分布し、その水平分布・厚さは気候条件の影響を受けて変動するが、一方では凍結・融解に伴う潜熱の解放や、土壌水分への影響を通して、大気側へもフィードバックを持つ。凍土の分布は気候システムの中においても重要な境界条件となるため、気候変動に対する永久凍土分布の応答を明らかにすることは気候システムの特性を理解する上で重要である。

本研究では、1次元の凍土モデルを用いて、永久凍土層の気候変動に対する応答を明らかにし、現在の東シベリアと北アメリカの凍土深さの分布から、それぞれの地域の最終氷期以降の気候条件に対して制約を加えるものである。